

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部門統括（氏名） 松本 亜紀子（TEL）042-363-1039
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	383	△3.1	37	160.9	44	103.2	30	101.4
2025年6月期第1四半期	395	△2.1	14	△76.6	22	△64.3	15	△63.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	6.05	—
2025年6月期第1四半期	3.01	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	7,700	7,055	91.6
2025年6月期	8,058	7,485	92.9

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 7,055百万円 2025年6月期 7,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,700	6.9	298	252.0	320	167.2	220	—	43.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	5,300,000株	2025年6月期	5,300,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	279,772株	2025年6月期	279,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	5,020,228株	2025年6月期1Q	5,015,569株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、先行き不透明感が増して緩やかな減少となりました。

海外の状況を見ると、米国では株式市場が再び上昇してきており、個人資産に占める株式・投資信託への配分の多い層の個人消費は堅調に推移しています。AIに関する需要は好調で、コンピュータや電子部品、その他にも航空機、自動車で一部増産になり製造業の生産は増加しております。

中国ではここ数年景気低迷状態から回復傾向を示していましたが、継続する不動産不況や若者の失業率の上昇などにより個人消費が減退してきています。貿易関税率の大幅引き上げにより米国向けの輸出は減少しましたが、関税引き上げ前の駆け込みや迂回輸出で東南アジアなどへの中間材の輸出や、EUやアフリカなどへの輸出はやや増加して製造業は若干戻してきました。

米国の貿易関税率の引き上げで、世界の製造業は生産調整や将来的な生産地域の見直しなど、今後を見据えた事業計画の修正をしいています。関税率上昇により、輸入物価の上昇や消費者の購入意欲の減退など景気へのマイナスの影響が徐々に始まっています。

日本国内では、海外生産比率や輸出比率が高い大手製造業において関税引き上げによる売上減少の影響がはじまっていますが、継続する為替の円安傾向や比較的強い米国景気に引っ張られるかたちで力強さには欠けませんが、9月には大手製造業で生産は増加しました。ただ先行き不透明感が高まっていることにはかわりはなく、大手製造業も設備投資や外注企業への発注は控えめにきていて、その影響を受けた国内の中小製造業の業況は一段と悪化しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、7月、8月と世界景気の先行きに対する不安から大手企業が生産調整をしていたと見られ、当社の受注は低調に推移しました。9月は米国でAIに絡む電子部品や通信機器、航空機、自動車などが増産となり、連動して国内でも生産が増加し、当社の受注も増加しました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は263,441千円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益は98,111千円（前年同期比0.3%減）となりました。

切削工具部門では、7月、8月は大手製造業の生産調整や夏季休業などにより受注は低調で推移し、9月に一部動きが出たことで当社の受注も少し増加しました。自動車は関税の影響もありましたが量産はしており、一定量の動きはありました。機械・設備は大手製造業が国内での設備投資抑制したことで低調となり、半導体も生産の回復ペースは鈍化しました。

このような状況のなか別注切削工具の製作・再研磨は、一定の受注は確保したものの国内製造業の設備稼働率は高まらず、売上高は37,041千円（前年同期比2.2%増）となりました。

市販切削工具の再研磨は、様々な業種の切削加工で使用されている工具の再研磨ですが、当社の顧客層の大部分を占める中小製造業において設備稼働率が高まらなかったことで、当社の受注も横ばいとなりました。売上高は79,334千円（前年同期比0.1%減）となりました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は116,376千円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は25,381千円（前年同期は3,758千円の損失）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が一定量あり、当社の受注は増加しました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は3,685千円（前年同期比41.5%増）、セグメント損失は735千円（前年同期は919千円の損失）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は383,504千円（前年同期比3.1%減）、営業利益は37,328千円（前年同期比160.9%増）、経常利益は44,786千円（前年同期比103.2%増）、四半期純利益は30,392千円（前年同期比101.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、4,957,660千円（前事業年度末は5,347,399千円）となり389,739千円の減少となりました。これは、その他が10,383千円、原材料が1,507千円増加しましたが、現金及び預金が321,431千円、未収還付法人税等が41,154千円、受取手形及び売掛金が32,513千円、仕掛品が3,622千円減少したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,742,765千円（前事業年度末は2,711,190千円）となり31,574千円の増加となりました。これは、繰延税金資産が25,027千円、建物及び構築物が2,980千円、無形固定資産が2,905千円減少しましたが、投資有価証券が60,641千円、機械装置及び運搬具が2,209千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における総資産は、7,700,425千円（前事業年度末は8,058,590千円）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、182,717千円（前事業年度末は107,774千円）となり74,942千円の増加となりました。これは、買掛金が2,325千円減少しましたが、未払金が63,924千円、未払法人税等が11,096千円、役員賞与引当金が2,460千円増加したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、462,149千円（前事業年度末は465,469千円）となり3,319千円の減少となりました。これは、長期未払金が1,600千円、退職給付引当金が1,493千円、その他が226千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、644,866千円（前事業年度末は573,243千円）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、7,055,559千円（前事業年度末は7,485,347千円）となり429,788千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が41,842千円増加しましたが、利益剰余金が471,630千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2025年8月8日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,676,064	4,354,632
受取手形及び売掛金	277,965	245,452
製品	2,864	2,836
原材料	43,552	45,059
仕掛品	272,876	269,253
前払費用	3,540	532
未収還付法人税等	45,911	4,756
その他	25,073	35,456
貸倒引当金	△448	△321
流動資産合計	5,347,399	4,957,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	195,501	192,521
機械装置及び運搬具（純額）	266,787	268,996
土地	333,534	333,534
その他（純額）	6,185	6,051
有形固定資産合計	802,009	801,104
無形固定資産	50,728	47,822
投資その他の資産		
投資有価証券	1,560,889	1,621,531
長期前払費用	2,405	2,192
繰延税金資産	295,055	270,027
その他	559	644
貸倒引当金	△457	△557
投資その他の資産合計	1,858,452	1,893,837
固定資産合計	2,711,190	2,742,765
資産合計	8,058,590	7,700,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,069	15,743
未払金	60,331	124,256
未払法人税等	—	11,096
役員賞与引当金	—	2,460
その他	29,373	29,160
流動負債合計	107,774	182,717
固定負債		
長期末払金	92,370	90,770
退職給付引当金	372,004	370,510
その他	1,095	869
固定負債合計	465,469	462,149
負債合計	573,243	644,866

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	365,296	365,296
利益剰余金	6,812,323	6,340,692
自己株式	△189,075	△189,075
株主資本合計	7,281,044	6,809,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204,302	246,145
評価・換算差額等合計	204,302	246,145
純資産合計	7,485,347	7,055,559
負債純資産合計	8,058,590	7,700,425

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	395,752	383,504
売上原価	302,027	260,746
売上総利益	93,725	122,757
販売費及び一般管理費	79,419	85,428
営業利益	14,305	37,328
営業外収益		
受取利息	89	3,206
有価証券利息	3,556	3,624
売電収入	283	241
作業くず売却益	78	79
補助金収入	3,600	—
その他	481	305
営業外収益合計	8,089	7,457
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	351	—
営業外費用合計	351	—
経常利益	22,043	44,786
税引前四半期純利益	22,043	44,786
法人税、住民税及び事業税	17,977	8,165
法人税等調整額	△11,027	6,229
法人税等合計	6,950	14,394
四半期純利益	15,093	30,392

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	277,501	115,645	2,605	395,752	—	395,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	277,501	115,645	2,605	395,752	—	395,752
セグメント利益又は損失 (△)	98,403	△3,758	△919	93,725	△79,419	14,305

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	263,441	116,376	3,685	383,504	—	383,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	263,441	116,376	3,685	383,504	—	383,504
セグメント利益又は損失 (△)	98,111	25,381	△735	122,757	△85,428	37,328

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	39,719千円	24,849千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	277, 501	36, 252	—	36, 252	2, 605	316, 359
その他	—	—	79, 393	79, 393	—	79, 393
顧客との契約から生じる 収益	277, 501	36, 252	79, 393	115, 645	2, 605	395, 752
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	277, 501	36, 252	79, 393	115, 645	2, 605	395, 752

当第1四半期累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	263, 441	37, 041	—	37, 041	3, 685	304, 169
その他	—	—	79, 334	79, 334	—	79, 334
顧客との契約から生じる 収益	263, 441	37, 041	79, 334	116, 376	3, 685	383, 504
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	263, 441	37, 041	79, 334	116, 376	3, 685	383, 504